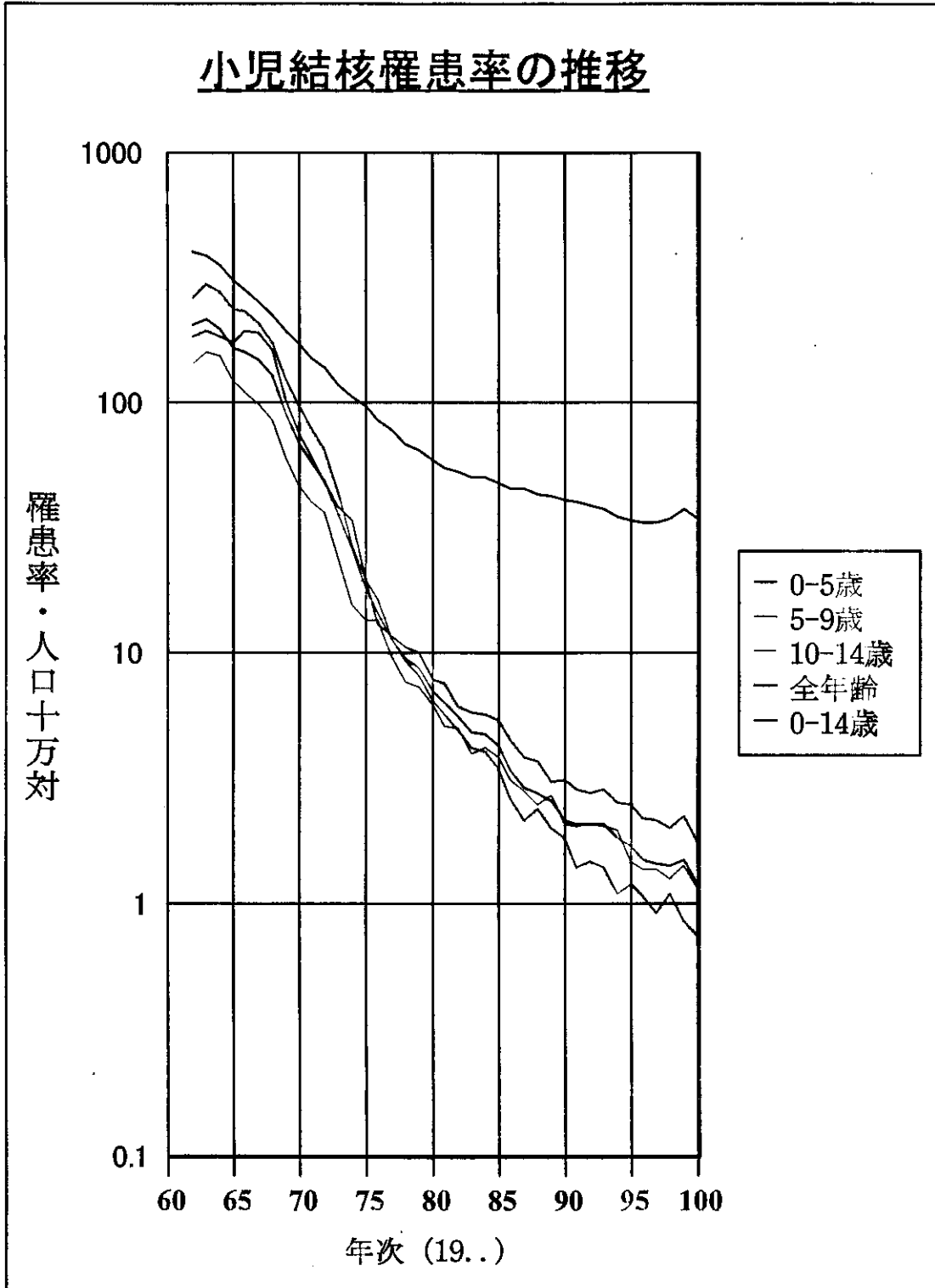


資料1. 小児結核罹患率の推移



資料2.

乳幼児年齢別結核既感染率

年齢	既感染率
1歳	0.05%
2歳	0.09%
3歳	0.14%
4歳	0.19%
5歳	0.25%

年間結核感染危険率

1951年 : 2.59%
2000年 : 0.05%

資料3.

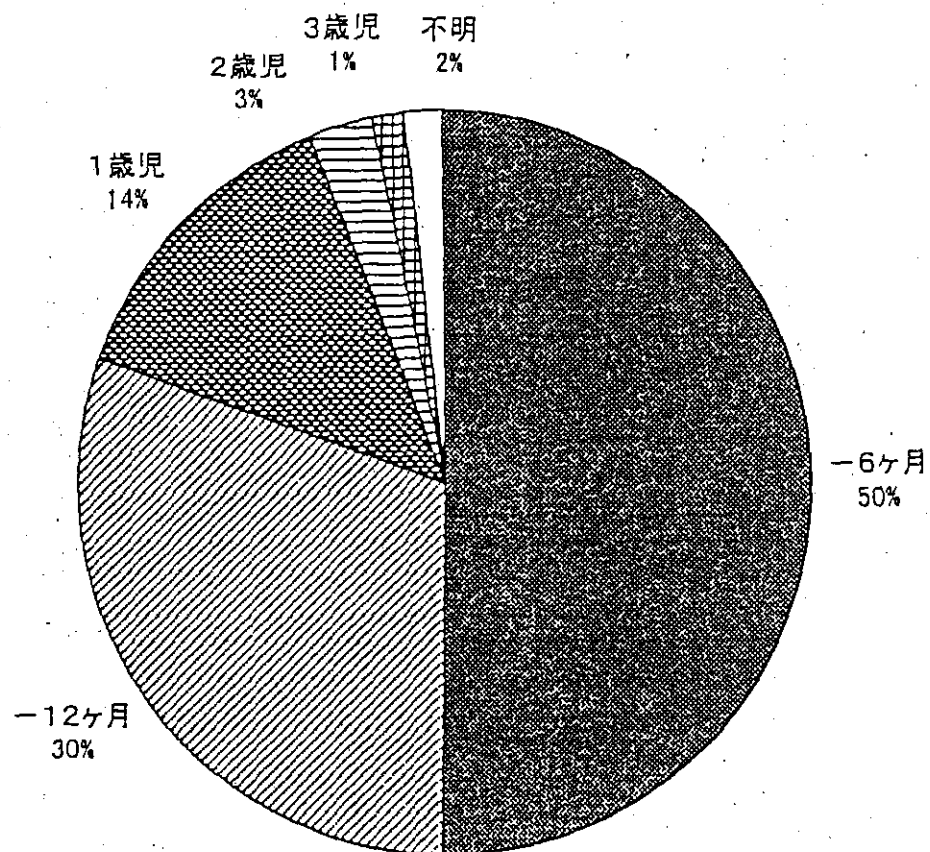
乳幼児の患者の年齢別発見法

年齢(歳)	0	1	2	3	計
個別健康診断	2				2
学校健診					
住民健診	6	4	2	1	13
職場健診					
施設健診					
業態者健診					
家族健診	6	8	12	5	31
その他					
他集団健診		1		1	2
医療機関受診	13	14	5	7	39
その他	2				2
不明					
総数	29	27	19	14	89

住民健診受診者総数 1,188,078人
マル初含まず。 発生動向調査2000年

資料4.

初回ツベルクリン反応検査の実施年齢分布(2000年)



資料5. 生後6ヶ月以下の患者の発見方法

登録時 月齢	患者分類コード	発見方法
0	肺結核菌陰性その他	医療機関受診
1	肺外結核	その他
2	肺結核その他菌陽性	医療機関受診
2	肺結核その他菌陽性	定期外家族
2	肺外結核	医療機関受診
4	肺結核その他菌陽性	定期外家族
4	肺結核その他菌陽性	医療機関受診
4	肺結核菌陰性その他	定期外家族
4	肺外結核	定期住民
5	肺結核菌陰性その他	定期外家族
5	肺外結核	個別健康診断
5	肺結核菌陰性その他	その他
5	肺結核菌陰性その他	定期住民
6	肺外結核	医療機関受診
6	肺外結核	医療機関受診

(2000年)

資料 6. 乳幼児の重症結核の特徴

表10 結核性髄膜炎症例

1976-91年(23例)

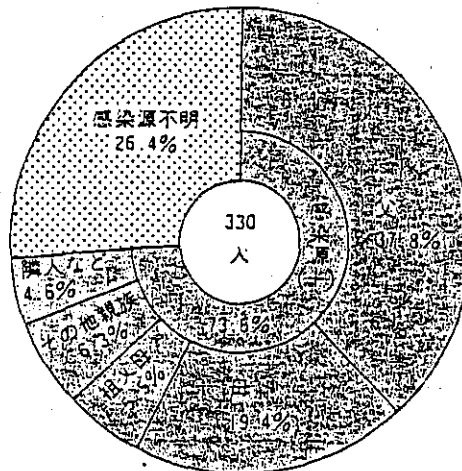
年齢	症例数	B C G 歴	予後不良症例 (死亡, 中枢神経後遺症)
-3カ月	2	0	1
A→4カ月-	7	1	3
1歳-	4	0	2
2歳-	2	0	0
3歳-	2	0	2
4歳≤	6	1	2
	23	2	10

資料：高松勇 小児結核 No. 8 1994. 1
呼吸器疾患・結核 資料と展望

資料 7. 接触者健診による発見

図2 結核患者感染源の内訳

1976-91年(330例)



資料：高松勇 小児結核 No. 8 1994. 1
呼吸器疾患・結核 資料と展望

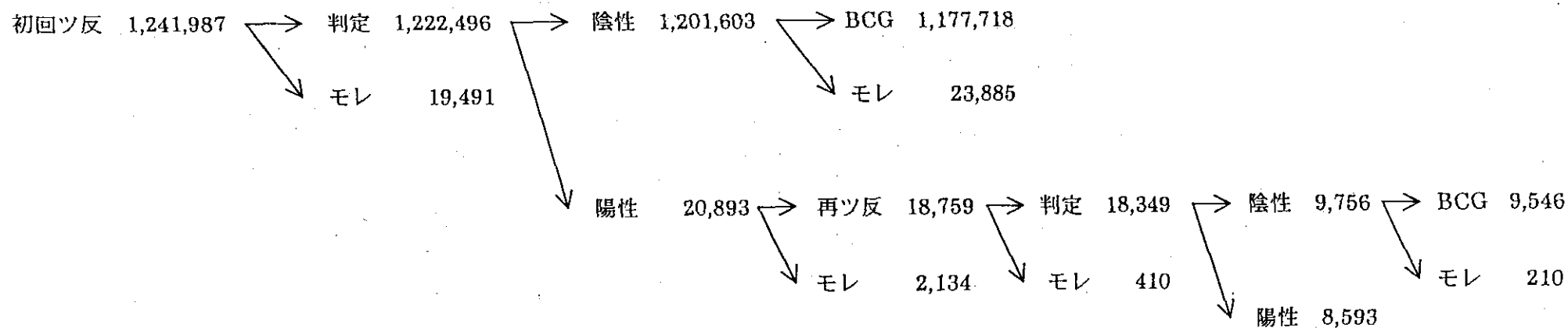
資料8.

<結核登録者における「BCG接種歴なし」の割合(0~14歳)>

	0~4歳		5~9歳	10~14歳	
	0歳	1歳			
登録者数	98	24	35	46	70
BCG接種歴なし	50(51.0%)	21(87.5%)	17(48.6%)	10(21.7%)	2(2.9%)

資料 9.

図. 初回ツ反および再ツ反の判定結果 (平成 12 年度結核緊急実態調査)



初回ツ反陽性率： $20,893 / 1,222,496 = 0.01709$ (1.71%)

再ツ反陽性率： $8,593 / 18,349 = 0.46831$ (46.83%)

初回ツ反：判定モレ 19,491

うち、推定ツ反陰性者数 $19,491 \times (1 - 0.01709) = 19,158$

初回ツ反陰性者に対する BCG 接種モレ：23,885

初回ツベルクリン反応検査によって出現する 接種しない率： $(19,158 + 23,885) / 1,241,987 = 0.0347$ (3.47%)

再ツ反：検査実施モレ+判定モレ $2,134 + 410 = 2,544$

うち、推定ツ反陰性者数 $2,544 \times (1 - 0.46831) = 1,353$

再ツ反陰性者に対する BCG 接種モレ：210

再ツベルクリン反応検査によって出現する 接種しない率： $(1,353 + 210) / 1,241,987 = 0.0013$ (0.13%)

資料 10. 学校健診受診者数・罹患者数

	学校健診受診者数*		学校健診にて発見された罹患者数**		全体の罹患者数**	
	小学1年	中学1年	小学1年	中学1年	小学1年	中学1年
1997年	1,172,017人	1,386,686人	7人	12人	21人	19人
1998年	1,185,482人	1,350,206人	4人	14人	18人	29人
1999年	1,176,628人	1,324,924人	5人	11人	15人	27人
2000年	1,168,047人	1,284,698人	4人	13人	10人	21人

出典 *地域保健事業報告、**結核発生動向調査年報より

資料 11.

中学1年生に行うツベルクリン反応検査の精度

対象者	ツベルクリン反応検査		10万人当たりの強陽性者(人)	直接撮影者数
	被注射者数(人)	強陽性者(人)		
乳幼児	1,188,078	636	54	-
小学1年生	1,168,047	11445	986	10476
中学1年生	1,284,698	69133	5444	72556

地域保健・老人保健事業報告(2000年)